

STAGE+を楽しむ(180)(HP 収載)  
—イム・ユンチャンの《四季》と《展覧会の絵》—

1. 始めに

前報(179)に引き続き、STAGE+のイム・ユンチャンの《四季》と《展覧会の絵》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回はイム・ユンチャンの《四季》と《展覧会の絵》の演奏を選びました。

イム・ユンチャンが《四季》と《展覧会の絵》を披露

ヴェルビエ音楽祭

2022年にわずか18歳でヴァン・クライバーン・コンクールで優勝して以来、国際的に最も注目されるピアニストの一人となっているイム・ユンチャン。今年はヴェルビエ音楽祭のステージでリサイタルを行います。メンデルスゾーンの2つの無言歌で始まり、その後ロシアの作曲家による2つの大曲を披露。チャイコフスキーの《四季》は一年の各月の音楽的肖像で構成されており、存分な詩情が感じられる作品です。また、ムソルグスキーの《展覧会の絵》ではイムの技巧、感性、音楽的想像力があますところなく発揮されることでしょう。

ソリスト:

イム・ユンチャン (ピアノ)

曲目:

フェリックス・メンデルスゾーン

無言歌集 op. 19 より 第1曲 : Andante con moto

フェリックス・メンデルスゾーン

無言歌集 op. 85 より 第4曲 : Andante sostenuto

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 《四季》 op. 37a

モデスト・ムソルグスキー 《展覧会の絵》

フレデリック・ショパン 夜想曲第2番変ホ長調 op.9-2



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。

メンデルスゾーンの無言歌集の2曲は、文字通り歌詞のない歌のようにピアノを歌わせています。

チャイコフスキーの《四季》は、四季の情景を描いた描写音楽です。

ムソルグスキーの《展覧会の絵》は、一転ユンチャンの若いエネルギーが炸裂したような、管弦楽版にも負けないような迫力ある演奏です。

アンコール曲のショパンの夜想曲第2番は、美しいタッチを聴かせてくれました。いずれもピアノの音は非常にリアルで、表現される音の精度には言うことがありません。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果、表情の異なるピアノ曲を描き分けていることが捉えられました。

以上